

2017年8月10日(木)～11日(金) 神戸大学附属中等教育学校

1. 震災・復興とリスクマネジメント ()
2. 国際都市神戸と世界の文化 ()
3. 提言：国際紛争・対立から平和・協力へ ()
4. グローバルサイエンスと拠点都市神戸 ()
5. その他 (○)

[概要]

即興型英語ディベート 全国大会に3チーム10名が出場しました 2チームが3位入賞、2名がベストディベーター賞(2位)を受賞

1. テーマ

即興型英語ディベートー「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」の育成ー

2. 目的

- (1) 即興型英語ディベートの実践を通して、「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を育成する。
- (2) グローバル社会で貢献できる人財の育成に寄与する。
- (3) 社会、政治、倫理、環境、国際問題など多岐にわたる論題でディベートをすることによって、視野を広げ思考を深める。

3. 行程

- 8月10日(木) 12:10 ホテルコスモスクエア国際交流センター 受付・集合
13:00 開会式
13:30-19:15 練習ラウンド2試合、レクチャー、予選ラウンド1試合
19:15 世界交流大会に向けたレクリエーション
19:30-20:30 希望者による予備ラウンド or 大学生等による受験勉強の補習
- 8月11日(金) 8:20-11:30 予選ラウンド2試合、ジャッジ練習
12:50-15:00 準決勝、決勝
15:00-16:00 表彰、総まとめ、閉会式・解散

4. 活動の様子



試合の様子



準決勝進出



本校2チームとも3位表彰



試合後の休憩時間



ベストディベーター表彰



レクリエーション

5.参加生徒の所感

今回の PDA は、冬の大会での反省を活かすことができ、また、新たな課題も見つかる良い経験となりました。私がディベートを始めたのは昨年のもので、初めはメモがあっても何を言っているかわからない状態でしたが、今はチームメイトと協力してしっかりと主張ができるようになりました。試合を通して他校の生徒とも仲良くなることができ、互いに学ぶことがあって本当に充実した二日間でした。また、ブレイクアナウンスメントの時の感動は忘れられません。次の冬の大会でも良い成績を残せるようにサマリースピーカーとしてこれからも頑張っていきます。(5年女子)

今回の PDA 合宿での目標は、参加動機の際に記入させて頂いた様に、前回の大会を上回る成績をチームで残すというものでした。結果は、予選ラウンドを1位、準決勝後の成績で3位を全体順位で勝ち取ることができました。また、大会とは違ったコンセプトを持つ合宿では、これからお互いを高め合える新しい仲間との出会いがありました。今回の合宿を通して、今年の冬に開催される全国大会での目標を持つこともできました。大変、有意義な機会でした。ありがとうございました。また、次の大会に向けて、もっと普段からディベートに触れる環境が欲しいなども感じています。(5年男子)

PDA ディベートへの参加は今回で3回目でした。これまで以上の素晴らしい経験ができたと思えば、身をもって実感するとともに自分に足りないものが明確になったように思われます。まだディベートがなにかもよくわかっていない中参加していた頃と比べて、力が少しはついてきているように感じました。大会、合宿はいつも楽しいと同時に自分の知識不足で悔しいと感じることもたくさんあります。今回、私のチームは予選を勝ち越し、準決勝に初めて参加させていただきました。準決勝は予選と違いスピーチシートや単語シートが配られず、少し不信には思いましたが、試合を始めました。後になってから配布されていなかったことに気づきとても残念でした。また、新しい先生方が多かったため、ルールや進行の仕方(スピーチシートなどをいつ配るかなど)がシェアされていないのだろうと私だけでなく、他のチームも感じた点が多くありました。しかし、結果としては、今年悔しいと感じたことを冬の大会に生かそうと強く思い、他校の生徒の姿がモチベーションにつながっています。ありがとうございました。(5年女子)

今回、三回目となる PDA ディベートを終えて、去年に比べてスピーチのデリバリーの仕方や、スピーチの内容のレベルを高めることができました。今夏は、去年とメンバーが少し変わり、なかなか練習することができませんでしたが、他の出場チームは部活でやっている中、準決勝進出を果たすことができ嬉しかったです。これからも説得力のある、論理的なスピーチが作れるように頑張っていきたいです。(5年女子)

私が今回の PDA 合宿・大会を通して一番感じたことは、去年よりだいぶレベルアップしたことです。去年は高校1年生で参加したので、即興型ディベートのことをあまり理解できていない部分がありました。でも2年生になり、練習もたくさんしてきたので、自信をもって堂々とスピーチをし、ディベートに参加することができたと思います。そしてそれが結果につながったことは、とても嬉しかったです。

即興型ディベートは、論題に対して2つの立論を15分以内に考えなければならないのですが、私はチームの中でもパニックになりやすく、落ち着いてられません。そんな時、同じチームのメンバーが「落ち着こう」と声をかけてくれるので、気持ちも楽になります。即興型ディベートに必要なことは、何よりもチームワークだと感じています。(5年女子)

今回、私がディベートに参加させていただいたのは初めてで、最初に集まった時から、何をどうすればよいのか全く分からない状態でした。数回の練習を重ねて、メンバーの皆からたくさんアドバイスをいただいて、大体の流れをつかんだところで本番を迎えました。一日目、その会場の雰囲気にも圧倒され、一日中緊張していたと思います。対戦相手はそれぞれディベートを部活動として活動している方ばかりで、素人の私は圧倒されるばかりでしたが、本当に勉強になりました。一日目の予選を経て、一日目の晩は明日お題に出そうなことを話し合い、みなで団結を強めました。ディベートは私が予想していたよりも熱い試合で、疲れていながらも、とても嬉しかったです。二日目は少し自信もつき、朝から手に汗握る試合でした。今回参加したことで、全国から来た、英語のレベルの高い他校の生徒と交流することができ、これからの自分自身の英語学習のモチベーションにつながりました。準決勝で敗退したあと、ジャッジの方にフィードバックをいただこうと、お話を伺いにいったところ、私たちの議論には例は多く出せても、その軸がないとの指摘をいただきました。自分たちでも、ここの反論が足りなかったなどと、反省点が多く見つけられ、非常に充実したディベート大会でした。次回の全国大会は残念ながら参加させていただくことができませんが、優勝目指して、応援したいです。この大会に参加させていただく機会をもらって、本当にありがとうございました。(5年女子)

私はこの夏休みに何か新しいことに挑戦したいと思い、今までしたことのない、英語でのディベート大会に参加しようと思いました。自分で参加すると言ったものの、すぐに辞めたくなくなりました。15分というとても短い時間の中で、しかも英語で議論を組み立てるということは私にとって悪夢のようになっていきましたが、夏休みに一緒に出場する人と何度も練習し、少しずつ楽しみに変わっていきました。しかし、本番が近づくにつれて不安一色になりました。そして引き返せずいざ本番、とても緊張しました。思っていたよりも言いたいことは言えたと思うし、試合を重ねていくうちに上達することができたと思います。しかし、審査員の先生の講評を聞くと、自分ではきちんと説明したつもりでも、言葉が足りていなかったり、相手チームへの反撃が足りていなかったりなど、改善すべきところが見えてきました。最初、私にとってこのディベート大会は恐ろしいものでしたが、今は、英語で実生活に身近なことについて議論するというあまりなく、すばらしい機会だったと思います。(4年女子)

今回ディベート大会に参加させていただいて、初めての経験をたくさんしました。そもそも私は「ディベート」ということ自体が苦手でした。それにもかかわらず、サマリーという大切な役割を担うことになり、最初はとても大きな不安を感じていました。もちろん、初回の練習ではボロボロで、どのように理由付けすればいいのか、どのように伝えればいいのか、全くわからなかったです。実際に試合を見たこともないし、形式もわからず、「本当に自分にこんなことができるのか」とくじけそうでした。ですが、同じグループの仲間や先輩方に協力していただいたり、指導していただければ当日はリラックスすることができました。試合が終わると、

お互いに成果と改善点を出し合い、次の試合に向けて対策を考えたりもしました。最初の頃には想像つかないくらいに本当に1つ1つの試合が楽しめました。今回は残念ながら入賞することができませんでした。ですが、入賞した先輩方のグループや、他のグループの試合を見ることで、自分が試合をしているだけではわからないことを学びました。もし機会があれば、また参加させていただきたいと思います。(4年女子)

初めは、あまりディベートがどのようなものか知らずに始めたため、初めて先輩方のディベートを見た時は驚いた気持ちと一緒に動揺が出てきました。それからは練習も思うように進まず、あっという間に本番の日になっていました。練習ラウンドの第1回戦、私たちのチームが初めて他校の人と対戦する時でした。ここで、私は自分の個人的な考えとは違う立場になり、3分間話しきることができませんでした。しかし、ほかのメンバーがカバーしてくれて、チームワークの大切さを実感しました。今回は目標としていたディベートの雰囲気だけでなく、ディベートのおもしろさやチームの大切さも知ることができて、本当に良い体験ができました。また次回できる機会があれば参加したいです。(4年女子)

今回、即興型ディベート大会への参加を決めるまでには、2つの不安がありました。まず1つ目に、今までディベートというものに触れたことがなかったこと。そして2つ目に、今の自分の発信力で伝えたい内容を伝えることができるのかと感じたことです。4年生は全員がはじめての経験だったので、まずは日本語で取り組むところから始めました。先生や先輩方に指導していただきながら練習を進めていくうちに、少しずつ面白くなってきました。その理由は大きく分けて3つあります。1つ目に、世の中の出来事に対して賛否両論の立場から、何とか意見を述べようと思えたこと。2つ目に、少しずつですが、表現するスキルがついてきたこと。そして3つ目に、4人で1つのことを創り上げていく雰囲気が楽しかったことです。また、当日は全国から集まった同世代の人々の雰囲気を肌で感じることもできました。まだまだ改善したい部分がたくさんあるので、もっと練習を積んでいきたいと思います。今回のディベートは貴重な体験になり、とても楽しい時間を過ごす事ができました。(4年女子)